

平成 29 年度第 2 回浦安市学校給食センター運営委員会議事録
(議事要旨)

- 1 開催日時 平成 29 年 11 月 17 日 (金) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- 2 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター 2 階会議室
- 3 出席者 (委員)
鈴木会長、手塚副会長、板井委員、野村委員、浅井委員、栗原委員
(事務局)
小澤部長、橋野次長、柴田課長
第一・第二調理場 長島所長、岡本主査、柳澤栄養士
第三調理場 板倉副主幹、林田栄養士、高木栄養士
- 4 主な内容
 - ・会長挨拶
 - ・教育総務部長挨拶(報告事項)
 - (1) 第一調理場施設紹介用DVD鑑賞
 - (2) 平成 29 年度学校給食用食材の放射性物質検査(4月～10月)の結果について
 - (3) 平成 29 年度学校給食における異物混入(4月～10月)の発生状況について
 - (4) 学校給食費について
 - (5) 次回の開催日程について(その他)
 - (1) 小学校給食の試食
 - (2) 見明川小学校現地視察(児童の喫食状況を見学)
- 5 会議の概要

各委員は、見学通路から第一調理場の作業風景を見学した後、給食センターでの取り組みや施設を解説したDVDを視聴した。その後、事務局より資料をもとに食材の放射性物質検査結果並びに給食における異物の混入状況等を説明し、質疑を交えながら現状分析や課題等について委員間で意見交換を行った。

次回、運営委員会の日程について、平成 30 年 2 月に開催することで確認した。
- 6 意見交換の経過
(報告事項)

報告事項として、事務局から資料をもとにその内容について報告した後、事由検討を行った。その際に表明された主な意見等は、次のとおり。

 - (1) 第一調理場の調理動画の視聴

(2) 平成 29 年度学校給食用食材の放射性物質検査（4 月～10 月）の結果について

（委員）

放射性物質検査を月 2 回実施し、すべて下限値未満であることは分かったが、過去の状況はどうなのか。

（事務局）

国の基準では、一般物資が 100 ベクレル以下・水が 10 ベクレル以下と定められており、過去の検査結果においても全て基準値以下となっています。例えば、検査結果が何らかの理由で 20～30 ベクレルの数値が検出された場合には、食の安全性を確保するためにその食材は使用していないこととしている。

（委員）

他の市町村でも同様に食材検査を実施していると思いますが、国の基準を超える放射性物質が検出されたことはあるのか。

（事務局）

葛南教育事務所管内の本市と市川、船橋、習志野、八千代市の 5 市の状況では、市場を通して購入した食材について、国の基準値を超える放射性物質が検出されたことは一切ないと伺っています。

（委員）

葛南教育事務所で実施されている県事業で、来年も継続していくということですが、震災後 7 年を迎え、放射能検査を止めてもいいのではないかという意見もあると思うが、この県事業が取り止めとなった場合、市ではどのように考えているのか。

（事務局）

先般、県西部地区の学校給食所長会議でも食材の放射性物質検査のあり方が話題となり、その中で野田市では来年度から検査食材の検体数や検査頻度を減らす方向で考えているとのことでした。

本市では、この県事業が継続される間は、引き続き実施していきたいと考えます。

しかし、これまでの検査で基準値を超える放射性物質が検出されていないことを踏まえ、検査の実施頻度の見直しについて、他市の状況を見ながら今後検討したいと考えます。

また、県事業が取り止めとなった場合、市独自の測定機器は持ち合わせていないため、実施の取り止めを含め、検査のあり方（委託方式）について教育委員会で検討していきたいと考えます。

(3) 平成 29 年度学校給食における異物混入（4 月～10 月）の発生状況について

（委員）

昨年度の異物混入件数は何件あったのか。また、子どもたちへの健康被害はあったのか伺います。

（事務局）

平成 28 年度は 14 件の異物混入事故が発生しました。内容としましては、「タワシの毛」、「ザルの破片」等で調理場の道具として使用しているものでした。今年度のよう

な危険物はありませんでしたので、大事には至りませんでした。

(委員)

現場の立場として、異物の混入は子どもに対する健康被害もそうですが、精神的にも影響を及ぼします。

丁寧に日々取り組んでいることは理解するが、引き続き異物の確認作業の強化に努めていただきますようお願いいたします。

(4) 学校給食費について

(委員)

給食費について、さまざまな工夫をして価格上昇に対応していることは分かりました。

給食費と直接関係する食材価格が上昇していく中で、食材の購入方法や納入業者は何社位あるのか。

(事務局)

食材の購入方法は、事業者から事前に食材の見本を提出させます。提出された見本品に問題がないと判断した事業者に見積書を提出させ、その中で低廉な価格を提示した事業者から購入しています。

また、納入業者数については、野菜類が7社程度、肉類が3社程度、魚介類が5社程度となっています。

(委員)

さまざまな工夫をされているということですが、物価の上昇によっては限界を迎えることが予想される。実際に給食費が上がっていくときの手順はどのようになるのか。

(事務局)

食材の工夫等による対応では、必要な栄養素を満たす適正な学校給食が維持できないと判断された場合には、教育委員会として給食費の改定について当運営委員会へ諮問をいたします。

当運営委員会におきまして、食材価格の動向や近隣市の給食費等総合的に検討・審議していただき、教育委員会に対し答申をしていただくこととなります。

以上で、平成29年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会を閉会した。